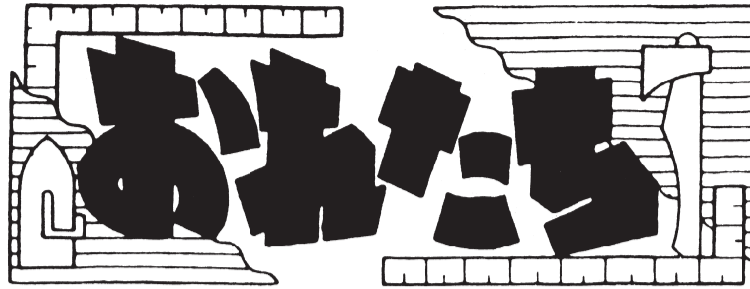


無料法律相談日の案内

1月21日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

1月当初組合員数=1,901人(-9人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・津田宗久/編集長・増山國吉
http://www.doken-arakawa.org/

東京都優秀技能者 (マイスター) に

荒川分会 近藤 正夫 さん 業界関係者からも一目



「熱設備に携わる者として
かけがえのない自然と
地球を守りたい」

耳慣れない「築炉」とは色々なものに熱を加えて焼却
・溶解をする設備を「炉」と呼び、その炉の耐火物施工
を「築炉」と言います。
私たちの身近にある「炉」には焼却炉やピザ窯があり
ます。築炉技能士とは「炉」を建設できる国家資格を指
します。築炉に関する知識を学び、実技試験に合格した
者を築炉技能士と呼びます。編集部では、国家試験築炉
技能士1級に合格し、荒川区技能功労者(荒川マイスタ
ー)と東京都優秀技能者(東京マイスター)に認定され
た、荒川分会の近藤正夫さん(67歳)取材しました。
共同取材 磯部正三記者 荒川分会 並木義男記者 荒川分会

の熱媒ボイラー開発に参画
し、築炉の設計・施工を担
当するようになります。昇
さんは東京土建の組合員で
もありました。
62(昭和37)年、近藤煉
瓦工業所と改称、旭硝子株
式会社特約店の和光窯業株
式会社と業務提携を開始、
ボイラー整備事業所で認可
を受けます。

荒川育ちで
マイスターに

近藤さんが代表を務める 瓦工事店」を創業したこと
有限会社近藤築炉サービス に始まります。
は、1909(明治42)年 57(昭和32)年、二代目
に祖父の金作さんが築炉で の父・昇さんが築炉部門で
煉瓦工事を始め、「近藤煉 独立し、綜研化学株式会社
85(昭和60)年には日野
自動車工業株式会社羽村工
場の特殊焼却炉の改修に成

功して、89
(平成元)年
に現在の近藤
築炉サービス
となりまし
た。
97(平成
9)年綜研化
学株式会社の
メンテナンス
業務が綜研テ
クニックス株
式会社に移行
したことにと
もない、近藤
築炉サービス
も築炉業務を
引き継ぎま
す。



近藤さんが手がけた炉が
現場で稼働する

了しました。

99(平成11)年、三代目
である正夫さんが社長に就
任、現在に至っています。
近藤さんは荒川区で育
ち、峡田小学校、荒川第四
中学校を卒業。その後、都
立上野高等学
校、埼玉大学理
工学部機械工学
科熱工学研究室
で学びました。
日本(現AG
C)プライブリ
コ株式会社に入
社、工事部工事
課に配属されま
したが、父の後
を継ぐため82
(昭和57)年に
近藤煉瓦工業所
に入所し、工事
と営業を担当し
ます。3年後に
は省エネルギー
センターエネル
ギー管理士通信
講座(熱)を修

エネルギーと環境問題も追究する近藤さん=工房で

また、昨年11月には日本
築炉協会の推薦を受けて、
東京都から東京マイスター
に認定されています。都の
マイスターホームページに
は、「CAD製図から施工
までの工程を一貫して行え
る数少ない築炉工である。
環境問題への対策として、
エネルギー効率を上げ、不
要な高温ガスを排出しない
炉の構造を研究。(中略)
他社従業員への指導を請け
負うなど、後進の育成にも
貢献している」と紹介され
ています。
近藤さんは、「急速な温
暖化で地球規模の異常が世
界中で進行しています。人
類はもとより地球上の生物
が生き延びるため、地球温
暖化の進行を絶対止めな
いと。熱設備に携わる私た
ちができることは、不要な
高温排出ガスを出さない、
資源を無駄使いたくない、と
いうことに尽きると思いま
すね。
具体的には熱設備に適し
た材料の選択、廃熱回収な
ど省エネルギー設備の導
入、色々な方法でエネルギ
ーを有効利用して炉の効率
アップを図ること。そし
て、資源のリサイクルと回
収率のアップ、限りある資
源の安定した需要と供給パ
ランスです。有効利用には
高度な技術・技能の継承が
必要です。目先のことにと
らわれず、未来のある子ど
もたちのために、小さな環
境からかけがえのない自然
と地球を救うために微力な
がら努力していきたい」と
話してくれました。

後継者育成にも
取り組みたい

さらに、「これからは工
房を開放して、実演と体験
を通して若い人に興味を持
ってもらい、後継者育成に
も取り組んでいきたいです
ね」と今後の抱負も語って
くれました。

### 八王子合同法律事務所

## 白神 優理子 弁護士

# インタビュー Part①

## 自民党 「緊急事態条項」 改憲案は 国民の自由・権利を奪うことに

政府は、新型コロナウイルスの感染拡大は憲法に私権を制限できる「緊急事態条項」がないからだと言っている。しかし、その先にあるのは9条改憲に他なりません。改憲、平和と民主主義の危機について、八王子合同法律事務所の白神優理子（しらが・ゆりこ）弁護士にお話を聞きました。

取材 船橋賢一 書記局



白神弁護士。「9条改憲と生活破壊は一体です」と話します

衆議院選挙で強固な地盤のある自民党の大物を落としたのは野党共闘の成果でした。改憲の問題でいうと、そもそも選挙の時改憲の話を聞いていません。公約の項目にはあげていないが、街頭演説で言ったかというと言っていない、大きな争点として取り上げてい

## 謹賀新年

### 厳しい情勢を みんなの力で 変えていきましょう



新年明けましておめでとございます。オリンピックも無事終わり、コロナ感染症も落ち着きを見せるなか、皆様と共に新しい年を迎える事が出来、喜ばしく思います。

昨年、新たな変異株が世界中で猛威を振るい始め、決して安心出来る状況ではありません。そして私たちが取り巻く情勢も厳しさを増すばかりです。

昨年の衆議院総選挙では市民と野党の共闘で政権交代が訴えられましたが、残念な結果に終わりました。2023年から導入されるインボイス制度では中小零細企業や個人事業主には大変大きな負担となります。消費税増税、コロナ禍、ウツドンヨックや半導体不足などで、建設産業は大手企業だけが内部留保を積み上げています。また、社会保障においては、都立病院の独立行政法人



化、年金制度の改悪、医療費の負担増など私たちの暮らしと健康を破壊しています。

24年からは建設業にも週休2日制が適用されます。休みが増えても収入が減ることなく、経済格差を無くし、後継者不足にも立ち向かって行かなければなりません。

困った時の東京土建。東京土建は私たち一人一人が支えています。大変な時こそみんなで力を合わせ大きな力に変えて行きましょう。今年も先頭に立ち諸課題に取り組んで参りたいと思います。是非皆様にもご協力をお願い申し上げます。荒川支部を盛り上げて行きましょう。

2022年元旦  
支部執行委員長 津田宗久

ませんでした。なのに、選挙が終わった途端に、改憲を進めるのが党是ですから。維新も今年夏の参院選と同時に国民投票したいなど。国民が願ってもいないことを選挙が終わった途端に言うこと自体、国民の声を無視している表れです。

日テレが選挙で「投票で重視したのは何か」という出口調査をして、どの世代でも「憲法」を挙げたのは数%にすぎない。有権者も改憲の問題を考えていない。これは統計データからも明らかです。それを無視して、改憲だというのはまったく国民主権を分かっている。有権者が重視したのはどの世代もコロナ対策、貧困と格差を解決したい、そして子育て。

コロナの影響で貧困化が進んでいます。岸田首相も総裁選の前は「分配あって再生、金融課税や富裕層への課税だ」と言っていました。が、総裁になった途端、「先に再生だ」と富裕層への課税も後回しにしました。分配なくして経済の再生などあり得ないじゃないですか。選挙の度に同じことをやってきた。ここを多くの人たちは怒りを持っていないといけません。

自民党が改憲の四項目に挙げている「緊急事態条項」についてはコロナ対策

に有効ではなく、むしろ逆行しています。「緊急事態条項」は一言で言うところ、国会も裁判所も無視できません。国会は国民の代表者が集まる場所、国権の最高

## インボイス制度廃止など 組合の諸要求で

### 荒川区議会会派懇談

荒川支部は12月13日あらかわ元気クラブ、14日次世代あらかわ、16日自由民主党・日本共産党、17日公明党・立憲・ゆい・無所属の会の6会派と、インボイス制度廃止や公契約条例制定などの組合の諸要求で懇談しました。（3面に関連記事）

【川又好一記者 12月16日、区議会1分会】12月16日、区議会会派の自由民主党中島義夫幹事長ら4人と懇談しました。支部から増山副委員長始め5人が参加しました。

## インボイス制度は改善をはかりたい

自由民主党

消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を国に求める要請では、政権与党なので求めることはできないが、産業経済部で改善をはかりながら不利益にならないようにしていくと回答しました。

リフォーム工事の助成については、学校校舎の小規模改修は必要。区内事業者を使うよう区に働きかけていくとしました。

公契約条例の制定については、趣旨は理解しているのに区に伝えていくとし、組合の要請内容については、北城貞治副幹事長から「個人的な意見だが、これからも話し合いを進めて行きたい」との

うことだっただけで来てしまうんです。語弊を恐れず言うならば、首相が独裁者になれる、ヒトラーになれるというものです。（つづく）

意見をもらいました。

## 与党の自民・公明党 を変える必要も

次世代あらかわ

【澤元達雄通信員 12月14日、区議会南分会】12月14日、区議会会派の次世代あらかわと懇談しました。次世代から夏目亜季幹事長を始め2人、支部からは澤元を始め5人が参加しました。

公契約条例制定の要請については、他区の制定状況や荒川区が制定を進めない理由などについて意見交換を行いました。

また、アスベスト除去費用の助成については、施主や区民に負担を強いるのは問題だが、区にはお金がないという回答でした。

リフォーム助成に伴う、学校のトイレの洋式化については、区は洋式化を進めてきたという回答でした。

西川区政を支える自民党と公明党の考えを変えていく必要があるという回答もいただきました。



懇談に応じた自民党区議団

# 宇都宮弁護士 儲けと脆弱な医療を批判

## 都立病院の独法化に抗議 300人が都議会を包囲

【八木橋郁子通信員11事業所分會】12月10日、都立病院の充実を求める連絡会と、人権としての医療・介護

護東京実行委員会は、都立病院と公社病院の地方独立行政法人への移管を強行する東京都に抗議し、東京都

議会の包囲行動に取り組み、全体で300人、支部から2人が参加しました。

日弁連会長の宇都宮健児弁護士は呼びかけ人を代表してあいさつ。



都立病院の充実を求める連絡会などが呼びかけた都への抗議行動

「この間のコロナ感染の拡大は日本の医療体制の脆弱性を明らかにした」と指摘し、「都は、もうけのための医療体制の反省を迫られている。命と暮らしを守るために独法化を中止させ、都立病院の充実・強化を求めていこう」と訴えました。

都議会から日本共産党の都議7人が駆け付け、原のり子都議が挨拶しました。



いま世界ではフードロスは食品廃棄につながり大きな問題となつています。フードロスと食品廃棄は同義語ではありませんが、この稿では食品ロスに統一して進めます。

食品ロスは、売れ残



りや食べ残し、消費期限、品質保持期限、賞味期限切れ食品など、また生産過程、製造過程、流通過程で発生する規格外品、本来は食べることができないはずの食品が最終的には破棄されることです。

日本の食品廃棄物は年間2531万トン出されています。その中のまだ食べられるのに破棄される食品、いわゆる「食品ロス」は600万トンです。(消費者庁)

この数字は、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(2019年・年間約420万トン)の1・14倍に相当します。しかも、この600万トンの食品ロスのうち276万トン(46%)は、家庭系食品ロスとされています。

(H) つづく

## 改憲許さぬ署名広げ市民運動の波を 戦争する国づくり狙う岸田政権

### 12・19 総がかり行動



憲法を無視する政治は許さないと1000人が集まった=国会議員会館前

の運動の波をもう一度起こそう。署名を広げて改憲反対の世論をつくらう」と呼びかけました。

政党代表として、立憲民主

主党の吉田はるみ参院議員、日本共産党の山添拓参院議員、社民党の福島みずほ参院議員がそれぞれ挨拶しました。

後半は、民間団体の訴えがあり、「女性による女性のための相談会」代表の柚木康子さんが、コロナ禍における女性の窮状を報告しました。

「沖縄の闘いに連帯する関東の会」代表、辻忠男さんは辺野古基地建設のための埋め立て反対を訴え、来年の名護市長選、沖縄県知事選の勝利のためにともに闘おうと訴えました。

また、法律家からは吉田健一自由法曹団団長が、「アベスガ政治を引き継いだ岸田政権は、敵基地攻撃能力の保有を強調し、憲法を無視して海外で戦争する

国づくりを進めている」として、新たな「憲法改悪を許さない全国署名」を草の根から広げ、来年の参議院選

では改憲勢力に3分の2の議席を許さない闘いをと呼びかけました。支部から3人が参加しました。

## 日本共産党 区の基金は430億円 リフォーム助成求めていく

【堀井一記者11日暮里1分會】12月16日、区議会会派の日本共産党(左写真上)と懇談を行いました。

支部から増山副委員長を始め7人、共産党から横山幸次幹事長ら5人が参加しました。

インボイス廃止の要請については、免税事業者への影響は大きく、党として国に廃止を求めていくが、消費税5%に戻せばインボイスはなくなる。コロナ禍の休業補償もなく、無利子の融資で乗り切った事業者が返済した後、消費税増税とインボイス導入での影響は計り知れないとしました。

アスベスト対策では、荒

川区に直接的な補助制度を働き掛けていきたい。

老朽住宅等の改修工事については、荒川区は木蜜地域が多く、古い家が長くあるのは危険なので、老朽住宅の改修よりも新築工事を推奨している。区は、零細企業の製造業の設備投資に補助しているが、零細の建設企業への補助も考えるように働きかけ、リフォーム助成を求めていく。

区は「金がない」というのが、430億円もため込んでいるので、党としてはリフォーム助成には2千万円の予算を組むよう提案していると回答しました。

また、公契約条例では、



予定価格の80%程度での入札が横並びになっているが、末端の労働者まで賃金が支払われているかが問題。引き続き条例制定は働きかけていくとしました。

## 公契約条例制定 連合と共に前向きに

立憲・ゆい・無所属の会

【増山國吉記者11日暮里1分會】12月17日、区議会会派の立憲・ゆい・無所属の会と懇談。支部から津田委員長を始め7人が参加、会派からは竹内明浩幹事長ら3人が対応しました。

公契約条例については、竹内幹事長から「条例については毎回議題にのぼりません。荒川区は条例でなく独自の政策をしているから条例制定まで考えていないと言っています。連合もゆいの会も、公契約については前向きに考えています。制定自治体の理事者を呼んで学習会を開催してはどうですか」という提案もありました。

立憲民主の久家・議員は、建設キャリアアップ制度には賛同できるとしました。

共産党区議団(上)と立憲・ゆい・無所属の会



### ひとくち映画情報

## 『テレビで会えない芸人』

四元良隆、牧祐樹 監督



©2021 鹿児島テレビ放送

日本国憲法を人間に見立て、改憲の動きを鋭く風刺する演目「憲法くん」を20年以上話し続ける芸人、松元ヒロ。その芸と生き方を通して、現代日本の素顔を浮かび上げさせたドキュメンタリー作品です。

松元はかつて、社会風刺コント集団「ザ・ニュースペーパー」で多くのテレビ番組に出演し、人気を博しましたが、90年代末以降はソロとなり舞台を中心に活躍しています。常に満席の会場から

### Profile

かやま りか 1960年生まれ。東京医科大学卒業。専門は精神病理学。現在は立教大学現代心理学部教授、神戸芸術工科大学大学院や甲子園大学心理学部の客員教授を務める。精神科医として心の問題を中心に、社会問題についても多くのメッセージを発信している。著書に「精神科医・香山リカのわかりみが深いココロの話」(白夜書房)、「明日がちよっと楽しみになるコッ友だちのひみつ」(小学館クリエイティブ)など多数。

多くの人が思い悩んでいるのに、政府のコロナ対策は一時しのぎで場当たりのなものばかり。感染拡大第5波の時には「原則自宅療養」という方針まで打ち



## 新春インタビュー



# 「自己責任社会」変える年に

## 精神科専門医 香山リカさん



新型コロナウイルスの感染拡大から約2年。心置き

なく古里に帰省したり、友人と会って会話を楽しんだ

りすることが難しくなっていました。仕事の面でも、長引くコ

ロナ禍で「先が読めない」状況が続く、心理的なストレスは労働者のメンタルヘルスに大きな影響を与えています。私の診察室にも、強い不安感を抱いて受診する人が少なくありません。

コロナ以前は、労働者が上司に注意されて落ち込んだ時に同僚から声をかけられたり、先輩からアドバイスを受けたりして、気持ちを切り替えることができた。しかし、リモートワークが急速に進み、そういうスマートフォン(雑談)が難しくなりました。うまく気持ちを切り替えられず、「オンライン会議後の作業がつらい」と訴える患者さんもいます。労働者が心の健康を保ちながら働くには、スマートフォン(雑談)のような気分転換、つまり、仕事と生活との間の「クッション

の時間」が必要です。私は労働組合が「クッション」の役割を果たしていると思います。職場の不満や悩みを仲間の組合員に話したり、会社に改善を求めたりすることもできます。患者さんの職場に労働組合があれば、病気になることもなかったかもしれないと思うことが、診察をしていてよくあります。

## 仲間の横顔

62



【池島美咲通信員 町屋北分会】町屋北分会の顔・柏木茂さんを紹介します。柏木さんは1973年に組合に加入。3年では長年群長・群会計を務めています。趣味

は民謡(写真は民謡貢献章を授与した時のもの)です。町屋北分会は2010年から分会長を選出できておらず、その役割を柏木さんが担ってききました。持ち前の優しさで心配り上手な柏木さんは、分会長不在の分会を支え、徐々に町屋北分会も分会・群の役員を選出できるようになり、今年度は12年ぶりに分会長を選出することができました。柏木さんの活動に取り組む真剣な姿勢が分会の仲間にも伝わったからだと思います。最近、仲間が集まる機会が持てていませんが、コロナが落ち着いたらみんなで楽しいイベントを企画して分会を盛り上げていきたいものです。

## 荒川文藝倶楽部

仲間の短歌・俳句・川柳

【編集部】仲間の文芸作品を順次紹介していきますので奮ってご投稿下さい。

(川柳)

傷だらけ 私の過去は 聞かないで

南千住分会 濱田 和男

出しました。「自助」の最終メッセージを出して実行したものでした。

政府には「命が一番大事。窮地に陥っている人には手を差し伸べます」とい